

1 6 日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）

1 目的

海外からの研修員等に対し、業務や研究及び日常生活に必要な日本語能力の向上や日本文化の理解の促進を図るとともに、国際協力・国際化の進展に寄与する（広島県からの受託事業）。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

日本語・日本文化研修：海外からの研修員等を対象に日本語及び日本文化の研修を実施

3 平成29年度実績

研 修 名 等	人数	実施期間	内 容
日本語 高等研修	A日程	8/7～8/11 8/28～9/1	外国人留学生が大学院で研究活動を行うために必要な論文作成・発表、討論等の高度な日本語能力を習得するための研修
	B日程	8/21～8/25 9/11～9/15	
	半年プログラム	10/2～3/2	
海外日本語 教師養成 研修	中国・ ベトナム	中国：3人 ベトナム：2人	アジア・太平洋地域等の日本語教師を対象に、日本語教師に必要な日本語教授法の習得及び日本語運用能力の向上のための研修
	韓国	5人	



日本語高等研修 2週間集中プログラ



海外日本語教師養成

研 修 名 等	人数	実施期間	内 容	
J E Tプログラム 日本語・日本文化研修	4 5 人	8/14～8/18	J E Tプログラムにより広島県及び県内市町に派遣される海外の青年に対する日本語・日本文化事情研修	
海外大学 日本語・ 日本文化体 験 プログラム	樂山師範学院 (中国)	6 人	10/30～12/22	
	新安山 大学校 (韓国)	夏季	1 4 人 (他引率 1 人)	7/3～7/21
		冬季	1 4 人 (他引率 1 人)	1/9～1/26
上海海洋大学 (中国)	6 人	1/22～1/31	アジア・太平洋地域等の高等教育機関の学生で、日本語・日本学を専攻している者、あるいは日本理解・広島理解を希望する者を対象にした日本語・日本文化研修	



樂山師範学院 (中国) 日本語研修



JETプログラム 日本語研修

1 7 日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）

1 目的

海外からの学生等に対し、日本語・日本文化研修や生活支援等を実施し、日本への理解の促進を図るとともに、国際交流の進展や国際的な人材の育成に寄与する。

2 事業概要（(1)～(3)平成18(2006)年度開始、(4)平成26(2014)年度開始）

(1) 青少年等日本文化体験研修

海外から教育旅行で広島県を訪問する青少年に対し、日本語の授業、日本文化体験、日本の歴史・産業の見学、及び地域住民・学生との交流の機会を提供する。

【5泊6日の場合の代表的な日程例】

日	曜日	時間	内容
1日目	木	午後	福岡・大阪・東京等から到着 HIP チェックイン、開講式、日本語授業
		夕方	日本文化体験（浴衣の着付けなど）
2日目	金	午前 午後	広島市内見学 （平和記念公園、マツダミュージアム、お好み焼き体験など）
		夕方	ホームステイ
3日目	土	終日	ホームステイ
4日目	日	午前	ホストファミリーとお別れ
		午前・午後	宮島（厳島神社）、もみじ饅頭づくり体験など
5日目	月	午前・午後	学校訪問 （生徒との交流、授業・クラブ活動参加など）
		夕方	日本文化体験（茶道など）
6日目	火	午前	閉講式 次の訪問地に向けて出発

【研修部で実施可能な日本文化体験の例】

茶道、生け花、折り紙、浴衣の着付け、絵手紙、書道、書画、型染め、和食（巻き寿司など）、竹とんぼ制作、日本の遊び（竹馬・けん玉等）

(2) 海外自治体・大学等国際化研修

海外の自治体職員や教育機関・大学の教職員・学生などに対する研修プログラム。ノンネイティブ日本語教師のための研修（日本語・日本文化・授業改善など）や、海外で日本語や日本文化を学んでいる方のための実践的な日本語研修などを行う。



(3) 企業等国際化研修

日系企業や日本と取引のある企業等が受け入れる外国人研修員の方に、HIPに宿泊しながら日本語や日本文化を学んでいただくための研修プログラム。昼間に会社・工場などで技術研修を受け、HIPに帰ってから日本語クラスや日本文化体験を行うことも可能。また、企業からの要望に応じて、日本の生活を開始するためのオリエンテーション、健康診断、役場への届け出、銀行口座開設などの支援、日本語集中講義なども行う。

(4) グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)

ひろしま国際プラザに入居して、所属の大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることができる外国人留学生のためのプログラムで、グローバル能力開発コースと生活基盤コースの2つのコースで構成する。

レジデントアシスタント (RA) の日本人学生を配置し、プログラムに参加する留学生を支援している。

区 分	グローバル能力開発コース	生活基盤コース
ねらい	ひろしま国際プラザに入居して、次の能力を養う。 ア 日本語及び日本文化・事情理解 イ 次世代のリーダー・グローバル人材として必要な能力 ウ 多文化共生・協働・平和を希求する精神	来日あるいは転入直後の外国人留学生を対象に、一時的な住居の提供及び基本的な生活情報を提供することにより、転入あるいは来日時の不安・負担の軽減を図るとともに、グローバル能力開発コースへの参加を促す。
プログラム内容等	ア 日本語のオフィスアワー ・ ひろしま国際センターの日本人講師陣に日本語能力試験の勉強法などが相談できる。 ・ 日時：毎週金曜日 14時～17時 イ 地域交流等 ・ ひろしま国際センター等が行う各種の地域交流イベントや研修事業へ参加し、イベントの中で自国の文化等を紹介したり、イベントや研修事業の運営を支援する。 ・ 実施時期：随時 ウ 参加者による多言語・多文化講座 ・ 国際交流を推進するため、地域住民に対して自国の言語や文化を紹介する講座を開催する。 ・ 平成27年11月から毎週1回、中国語講座「中国語カフェ」を実施。GRP留学生2名が講師、平成28年度受講者14名。平成29年2月15日を最後に終了した。 ・ 平成28年10月から毎週1回、ペルシャ語講座「ペルシャ語カフェ」を実施。GRP留学生1名が講師、平成29年度受講生7名。講師の都合により平成29年7月から一時休止中 オ 留学生間の交流 RAの主宰のもと、定例的なミーティングを開催し、入居留学生の相互交流とともに、ひろしま国際センターの国際交流イベントへの協力や生活のことなどについて、情報交換を行う。	
参加期間	1年間（原則最大2年間）	1週間以上～1ヶ月以内
累計参加者	16ヶ国 延べ57名（平成30年3月末現在）	



プログラム参加者たち



ペルシャ語カフェ

3 平成29年度実績

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
青少年等 日本文化体験研修	Bear Creek High School (米国)	45人 (2人)	6/11～6/16 (5泊6日)	オーストラリア，米国の中学生・高校生を対象とした日本語・日本文化研修
	St. Bernard's College (豪州)	21人 (3人)	9/21～9/26 (5泊6日)	
	Knox Grammar School (豪州)	20人 (3人)	9/28～10/2 (4泊5日)	
	キッズキャンプ (台湾)	11人	7/2～7/8 (6泊7日)	大葉大学(台湾)教授親子ほか，台湾の小学生親子を対象とした日本文化体験
	台湾・英語キャンプin広島 (台湾)	14人 (1人)	7/8～7/16 (8泊9日)	広島県教育委員会と台湾桃園市が共同で実施する「台湾・英語キャンプ in 広島」に台湾から参加する高校生を対象とした，日本語・日本文化体験，交流プログラム
	在外県人会後継者育成支援及びグアナファト青少年交流事業 (米国・ハワイ州，オレゴン州，メキシコ，ドミニカ共和国，ボリビア，アルゼンチン，メキシコ・グアナファト州)	14人 (6人)	7/30～8/8 (9泊10日)	在外広島県人会及びメキシコ合衆国グアナファト州(平成26年11月に広島県と友好提携締結)の青少年を県が招へいし，文化体験や交流事業を通じ広島への理解を深めてもらうための事業
	グローバル未来塾inひろしま	25人	8/9～2/4 (HIP宿泊：8/9～8/11)	将来，国際平和を希求し世界的に活躍できる人材となることを目指す高校生等を対象に，広島県が実施する，英語力，核軍縮や紛争解決などの国際的課題を学ぶプログラム
	広島STEM研修 (豪州)	13人 (2人)	12/3～12/9 (6泊7日)	広島県教育委員会と教育交流協定を締結している，豪州・クイーンズランド州から派遣された日本語，科学，技術，数学(STEM教科)を学ぶ高校生の日本語・日本文化体験，交流プログラム
	日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン) 四川省・重慶市高校生	10人 (1人)	12/6～12/13 (7泊8日)	科学技術振興機構が行う，科学技術分野において日本とアジア青少年が交流を行う事業
大学等 海外 国際 自治 体 研 修	日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン) 中国・長春理工大学	14人 (1人)	2/25～3/6 (9泊10日)	
	駆勢語言教育中心(Trinity Language Center) 日本語・日本文化体験(台湾)	50人 (1人)	9/1～9/7 (6泊7日)	台湾の日本語学校生徒を対象とした日本語・日本文化体験の研修
	大葉大学「国際ボランティアプロジェクト」研修 (台湾)	9人 (1人)	9/7～9/12 (5泊6日)	日本でのボランティア体験(宮島清掃活動)を中心とした日本語・日本文化体験の研修

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
企業等 国際化 研修	四川省環境保護合作事業 (中国)	3人	6/5～6/24 (3週間)	広島県と四川省環境保護庁が協定を結び、平成4年から継続している環境分野の技術交流事業の国内研修
	日本の教育システムと文化体験 研修 (フィリピン)	15人	4/27～5/1 (4泊5日)	フィリピン大学ほか教育関係者を対象とした日本の教育現場視察と文化体験の研修
		30人	10/23～ 10/27 (4泊5日)	
		29人	2/19～2/23 (4泊5日)	
	広島大学「法学分野における夏季特別研修」日本語・日本文化体験プログラム (ブラジル)	16人 (4人)	7/27～8/8 (2週間)	広島大学のブラジルでの海外協定校の1つであるサンパウロ大学の学生に対する日本語・日本文化研修
	県立広島大学 高原野菜づくり研修生日本文化体験プログラム	14人	8/18～8/21 (3泊4日)	県立広島大学が受け入れる東南アジアからの研修生の日本文化体験プログラム
	(株)日本開発サービス シリア/平和への架け橋・人材育成プログラム (日本語研修)	19人 (帯同家族13人)	8/19～9/14 (うち日本語研修期間は8/28～9/13)	来日直後のシリア/平和への架け橋・人材育成プログラム研修員と帯同家族に対する基礎的な日本語能力の養成を目的とした研修
	広島大学 理工学部国際ワークショップ	30人	8/21～8/31 (10泊11日)	タイ、台湾等国内外の学生が参加する国際ワークショップ参加者に対する日本文化体験プログラム
	広島大学 韓国大学生日本文化体験プログラム	8人 (1人)	9/21～9/26 (5泊6日)	広島大学の提携大学の韓国人大学生に対する日本文化体験プログラム
	米国国務省日本語研修所 日本語・日本文化研修	5人 (1人)	10/18～10/2 2 (4泊5日)	米国国務省日本語研修所研修生が、ホームステイや日本文化体験等を通じ、日本語能力の向上を図るとともに日本文化への理解を深める。
	広島大学 中国大学生日本文化体験プログラム	26人 (4人)	11/14～ 11/24 (10泊11日)	広島大学の提携大学の中国人大学生に対する日本文化体験プログラム
	立命館アジア太平洋大学 「広島ピースツアー」	17人 (3人)	11/26～ 11/27 (1泊2日)	国際生(14人)及び国内生(3人)の平和学習と日本文化体験プログラム
	広島大学「起業案作成演習」におけるインド大学生日本文化体験プログラム	4人	12/12～ 12/18	広島大学の提携大学のインド人大学生に対する日本文化体験プログラム
	広島大学「専門外国語研修」におけるインド大学生日本文化体験プログラム	8人 (2人)	12/16～ 12/26	広島大学の提携大学のインド人大学生に対する日本文化体験プログラム

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
企業等 国際化研修	広島県教育委員会 ハワイ教員研修	3人	1/11～3/31	広島県教委が米国ハワイ州教育局との教育交流協定に基づき実施するハワイ州の教員研修
	広島県国際課 日本語教員招聘事業(インドネシア, 台湾)	3人	2/26～3/10 (12泊13日)	アセアンの大学等で日本留学の送り出しに積極的に取り組む日本語教員を受け入れ, 広島県の留学環境のPRを行うとともに, 県内大学とのネットワーク強化を図るための広島県が実施するプログラム
(GRP)	グローバル能力開発コース (長期)	新規17人 (継続14人- 外数)		(全体の内訳) 中国9人, ベトナム7人, イラン3人, インド2人, カンボジア2人, 韓国2人, アフガニスタン, ウズベキスタン, タイ, バングラデシュ, フィリピン, ナイジェリア各1人
	生活基盤コース(短期)	0人		すべて長期へ移行
	レジデント・アシスタント(RA)	新規2人 (継続1人- 外数)		日本人学生
合 計		495人		

18 国際協力機構(JICA)受託研修事業

1 目的

独立行政法人国際協力機構(JICA)中国国際センターが受け入れた、開発途上国の国づくりの中心となる技術者・行政官等への研修をHICが受託実施し、様々な分野の専門知識・技術等の移転を支援する。

2 事業概要

JICAから集団型研修コース等を受託し、広島県や県内の大学等と協力して実施する。

3 平成29年度実績

(1) 課題別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
平和教育 —相互理解の促進を とおして—	10人	7/6～8/7	【内容等】 ・日本・広島での経験・実践を学びつつ、自国の実情にあった平和のための教育推進に向けてのアクションプランを作成することを目的とする。 ・広島を主な事例として、行政、学校教育、市民の平和のための教育への役割や連携を講義形式で学び、実際に行政、学校、NGO等を視察し具体的な取り組みを体験する。 【協力機関】 広島大学 等 【参加国】 ブルンジ、スーダン、イエメン、コロンビア、イラク (クルド自治区)
エネルギーの高効率利用と 省エネの推進	10人	7/14～8/22	【内容等】 ・省エネルギー政策の意義や政策立案の基礎などを学ぶとともに、日本がこれまでに培った省エネルギー関連の知識や技術、経験の習得を通じて、対象国において省エネルギー政策立案ができる人材を育成することを目的とする。 ・日本における省エネルギー行政の体系と取組を理解するための講義や、日本の省エネ技術と日本の省エネ推進活動の実例の視察、政策立案の演習などを実施する。 【協力機関】 中国経済産業局、広島大学、広島県環境県民局 等 【参加国】 アルゼンチン、チリ、コロンビア、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル
紛争影響国における ガバナンス能力強化	6人	7/24～8/4	【内容等】 ・日本の事例を通じて安定した国家建設を適切に計画・履行するためのガバナンスのあり方に関する理解を高め、目指すべき国家像や治安分野を含む諸機関の中での行政官の役割を見直し、幹部行政官の政策形成能力を向上させる。 ・日本の統治機構や行政府・立法府・司法府の関係、国家安定に資する治安関連諸機関の機能などを学ぶ。 【協力機関】 日本政治総合研究所、明治大学 等 【参加国】 フィリピン、スーダン、ギニアビサウ、ソマリア
排水処理技術	10人	8/31～10/27	【内容等】 ・日本で実際に機能している排水処理システムの実例及びその整備プロセスを体系的に学ぶと共に、参加国間で課題や経験を共有、議論する中で、参加者が各国の排水処理状況を改善するための糸口をつかむことを目的とする。 ・「水環境保全の意義」「下水道計画・経営」「処理場の維持管理」「下水処理技術」等といったテーマについて、講義・視察・実習を通して自国に合った必要な知識・技術を学ぶ。 ・また、途上国に向けた技術の一つとして、UASB+DHSを紹介し、自力で実行可能な改善取組みへの意欲を向上させる。 【協力機関】 東広島市、広島大学、東北大学、長岡科学技術大学、県内の除害装置を持つ企業 等 【参加国】 アルゼンチン、ボリビア、コスタリカ、キューバ、グアテマラ、メキシコ、ニカラグア、ペルー、ベネズエラ

研修名	人数	実施期間※	研修概要
道路維持管理 (D)	14人	11/1～12/11	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加国の経済発展に伴う急増する自動車交通需要に対応する道路整備について、日本の技術・知識・経験を活かし、効率的な維持管理計画の策定スキルを向上させることを目的とする。 PDCAサイクルを使って、予防的・効率的な道路整備や維持管理の方法を学ぶ。 道路維持、管理技術の現場の視察や実習を行う。 自国の維持管理の改善に向けた行動計画を作成する。 <p>【協力機関】 中国地方整備局、広島県、東広島市、京都大学、大阪大学、拓殖大学、長岡技術科学大学、高速道路関係企業、NPO 等</p> <p>【参加国】 カメルーン、コートジボワール、ジブチ、エジプト、モロッコ、南スーダン、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ</p>
I N S E T 運営管理	14人	11/21～12/14	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の現職教員研修、学校運営管理についての講義、学校視察及び自国との比較分析を通して、学校運営管理の改善計画を策定することを目的とする。 日本の教育について、理論から現場視察を通して、現職教員研修制度の管理運営に係る仕組み、各行政レベルの役割を理解した上で、自国の現職教員研修に係るアクションプランを作成する。 <p>【協力機関】 広島大学、広島県立教育センター、東広島市教育委員会 等</p> <p>【参加国】 ウガンダ、エチオピア、ガーナ、ケニア、ザンビア、タンザニア、マラウイ、ルワンダ</p>
質の高い、持続可能な交通システムの推進	7人 (このほか、JICA横浜センター所管の研修員2名が参加)	11/28～12/15	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「新たな日ASEAN交通分野における環境に関する行動計画」に列挙されている「質の高い交通」推進関連施策群等を理解し、各国における「質の高い交通」案件の推進に向けた具体的検討の推進を目的とする。 「質の高い交通」関連施策群事例の講義・視察を通じて、「質の高い、持続可能な交通」のコンセプトを理解し、自国の交通セクターの課題解決に向けたアクションプランを作成する。 <p>【協力機関】 国土交通省、広島大学、広島市道路交通局、広島市都市整備局 等</p> <p>【参加国】 インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイ (JICA横浜センター所管研修員：バングラデシュ、ベトナム)</p>
ビジネスを通じた女性のエンパワメント	10人	1/15～2/16	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中米統合機構 (SICA) 加盟国とJICAが締結した技術協力4分野の内の「ジェンダー」について受託実施。当該分野の日本の政策及び広島県内地方部における地場産業と地域経済活性化の取組と女性の参画事例を学び、各国での事業実施支援の基盤を構築することを狙いとする。 SICAと加盟国、あるいは加盟国同士の情報共有や連携強化を図るため、日本での学びを元にしたワークショップやディスカッションを主軸とした研修を行う。また、帰国後の改善に向けアクションプランを作成する。 <p>【協力機関】 県立広島大学、広島県、広島県内市町、ジェンダー推進に係るモデル企業・団体、女性起業家 等</p> <p>【参加国】 グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国 (以上、SICA加盟国)</p>

研修名	人数	実施期間※	研修概要
紛争影響国における地域社会再建にかかる地方行政能力強化	13人	1/24～2/13	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紛争影響国において地域再建プロセスを担う地方行政官及び中央政府職員の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。 紛争影響国における地域社会の再建を通じた平和構築の取り組みと、その中での地方行政・コミュニティの果たすべき役割を理解する。 <p>【協力機関】 東広島市，神石高原町，三鷹市，いわき市，福島県，いわき明星大学，いわきおてんとSUN企業組合 等</p> <p>【参加国】 ウガンダ，スリランカ，パキスタン，フィリピン，パレスチナ，スーダン，イエメン</p>
アフリカ地域 教師教育 (基礎教育分野)	14人	1/19～2/21	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仏語圏アフリカの教師教育改善のための方策を検討し，初等教育の質向上を図ることを目的とする。 日本の教育及び教師教育に関する経験や現状を知ることを通じて，自分の組織の課題を明らかにし，その課題に対する改善計画を検討するための講義，視察，ワークショップなどを実施する。 <p>【協力機関】 広島大学，広島県立教育センター，東広島市教育委員会 等</p> <p>【参加国】 ベナン，ブルキナファソ，マダガスカル，コートジボワール，ジブチ，ガボン，ギニア，マリ，セネガル</p>
計10コース	108人		

※実施期間は，技術研修期間である。（出入国日，ブリーフィング・オリエンテーションは含まない）



「SICA ビジネスを通じた女性のエンパワメント」
(広島県安芸太田町 寺領味野里の祇園坊柿加工場視察)



「道路維持管理」コース
(広島国道事務所による高架下の維持管理の説明)

(2) 国別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
フィリピン 「バンサモロ紛争影響地域 における地域産業の振興」	18人	8/2～8/15	【内容等】 ・バンサモロ紛争影響地域の主要産業の振興に関係する政府機関、民間組織、大学・研究機関などの実務者に対して、わが国の地域産業振興に関する諸施策、産官学連携や関係機関の役割、現場における具体的な事例の視察等を通じ、同地域における地域産業振興推進に有効な視点や手法を学ぶことを目的とする。 【協力機関】 広島県、広島大学、県立広島大学、 (公財)広島市農林水産振興センター 等
計 1 コース	18人		

※実施期間は、技術研修期間である。

(3) 日系研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
観光果樹園経営及び果樹栽培技術（長期）	1人	5/19～11/17	【内容等】 ・平田観光農園における実習や講義を通じて、果樹（イチゴ、スモモ等）の先端的栽培管理技術、加工技術、及び観光果樹園の経営手法等を学ぶことを目的とする。 【実施機関】 有限会社平田観光農園 【参加国】 ボリビア
伝統文化（神楽）の継承による日系社会の活性化	3人	10/11～11/14	【内容等】 ・日系社会で神楽の伝統を引き継ぐべく日々活動している若者を対象に、演舞や道具類などの神楽技術及び後継者の指導・育成技術の習得や、神楽イベントを通じて、日系社会の担い手としての連携と共同意識を高めることを目的とする。 【実施機関】 安芸高田神楽協議会 【参加国】 ブラジル
理学療法（作業療法）による機能回復訓練	1人	1/15～2/14	【内容等】 ・障害者を対象とした機能回復訓練の医療現場での実習を通じて、訓練の流れやシステム、疾患別アプローチについて学ぶことを目的とする。 【実施機関】 広島県立障害者療育支援センター わかば療育園 【参加国】 ブラジル
計 3 コース	5人		

※実施期間は、技術研修期間である。

(参考) 過去のJICA研修受託実施状況

(単位：コース，人)

区分/年度	9～24	25	26	27	28	29	累計
コース数	183	8	13	11	15	14	244
研修員数	1,571	71	120	115	132	131	2,140

1 9 地域の国際化推進事業 (地域交流イベント)

1 目的

県民が直接外国人と交流する機会を提供し、地域の国際化を推進する。

2 事業概要

多くの地域住民（在住外国人を含む。）が国際相互理解を深める機会として、「ひろしま国際プラザ（HIP）」に在館する研修員の協力も得ながら、様々な地域交流イベントを実施する。
また、国際交流・協力事業の地域ボランティアを養成するため、イベントでの通訳やホストファミリーなどの「HIC オレンジサポーター」登録制度を設け、積極的な参画を促進する。

3 平成 29 年度の実績

1 地域における国際交流推進事業

【目的】

日本人住民に対する意識啓発、外国人住民に対する日本での生活上必要な種々の情報提供及び地域に暮らす外国人・日本人住民の交流機会の提供を行うことにより、地域における国際交流及び外国人住民が心豊かに暮らせるまちづくりの推進を支援する。

1 子ども英語村

(1) 概要 地域における国際交流推進事業の一環として、研修員や在住外国人の協力により、言語や文化にスポットを当てた語学と異文化のアクティビティを行い、多文化共生社会の推進を支援する。

(2) 対象者 日本人住民（主に東広島市在住の言語・異文化に関心のある小学生以下の子ども）

(3) 実施状況

日時	平成 30 年 3 月 3 日（土） 10：00～15：00（12：00～13：00 は休憩）
場所	ひろしま国際プラザ ロビー（1階，2階）
参加者	参加者 420 名 ボランティア等 40 名（ALT・CIR22 名，HIC 研修生 3 名，学生ボランティア等 15 名）
内容	「ムービー・スターになろう！」をテーマに、ひろしま国際プラザをスター養成所に、参加者をスターの卵に見立て、参加者が、スターに必要な様々なスキルを各ブースで身に付けて、デビューを目指す。



スターになる初めの一步 表情練習



練習スタジオ アクション



練習スタジオ ポージング&ウォーキング



自習スタジオ スターとおしゃべり

2 「やさしい日本語」講座

- (1) 概要 外国人住民にとって理解が容易な「やさしい日本語」で話すための方法について講習会を開催することで、業務及び日常生活における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。
▽ 「やさしい日本語」の概略，ロールプレイによる実践練習
- (2) 主な対象者 外国人への情報発信やコミュニケーションを行う自治体・企業職員（主に教育・福祉・保健分野に従事する者），住民自治協議会，地域メディア担当者，ボランティア等
- (3) 実施回数・参加者数 4回 141名（外国人19名。日本人122名。1回目は11月23日実施の外国人市民の防災フェスタと合わせて実施した。）
この4回のほか，9月4日放送のFM東広島の番組「あんぜん広場」にH I C職員2名が出演し，30分間，やさしい日本語について説明した。
- (4) 実施状況

(1回目)

日時	平成29年11月23日（木・祝） 9：45～16：00
場所	県防災航空センター，県中央森林公園
対象	一般市民
参加者	39名（外国人19名，日本人20名）
内容	・外国人市民の防災フェスタと合わせて実施 ・移動バスの中で，「東広島市の外国人の話」と「やさしい日本語に関するクイズ」

(2回目)

日時	平成29年11月25日（土） 10：40～12：00
場所	東広島市立三ツ城小学校
対象	広島国際大学学生，教員，一般市民等
参加者	74名（学生57名，教員2名，一般市民13名，その他2名）
内容	「やさしい日本語」講座

(3回目)

日時	平成30年1月31日（水） 13：00～14：30
場所	東広島市立御菌宇幼稚園
対象	御菌宇幼稚園教諭及び認定こども園みそのうこぼとの森職員
参加者	14名
内容	「やさしい日本語」講座

(4回目)

日時	平成30年2月17日（土） 13：30～14：15
場所	安芸国分寺（東広島市西条町吉行206）
対象	安芸国分寺 寺小屋キッズ
参加者	14名（園児2名，児童7名，保護者など5名）
内容	「やさしい日本語」講座



11月25日の
「やさしい日本語」講座

3 外国人のための東広島バスツアー

- (1) 概要 地域に対する理解を促進し、生活上必要となる情報を提供するためのバスツアーを開催し、外国人住民の生活の利便性・快適性向上を図るとともに、地域に対する愛着を増す機会とする。また、参加者同士のコミュニケーションを促し、住民同士のネットワーク形成の一助とする。
- ▽ 市内の主要観光スポットや生活に役立つ公的機関への訪問
 - ▽ 地域行事等への訪問，地域住民との交流
 - ▽ バス内でのレクリエーション等を通じた参加者間の交流

(2) 対象者 主に東広島市に在住する外国人住民

(3) 実施回数・参加者数 3回 外国人 113名，交流参加日本人 79名

(4) 実施状況

(1回目)

日時	平成 29 年 6 月 17 日 (土) 9:00~17:30
参加者	外国人 36名，日本人 4名，交流参加日本人 36名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸津町 有田園芸農場でジャガイモ掘り体験 ・ひろしま国際プラザで、ホストファミリー講習会に参加していた日本人家族と一緒に七夕飾り作り ・広島空港三景園見学

(2回目)

日時	平成 29 年 10 月 21 日 (土) 8:50~16:25
参加者	外国人 38名，交流参加日本人 8名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・豊栄町の小石川りんご園でりんご狩り ・高屋町の白市の町並み見学と地域の方との交流

(3回目)

日時	平成 30 年 3 月 24 日 (土) 8:50~16:40
参加者	外国人 39名，交流参加日本人 31名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河内町小田地区多目的集会所で、盆踊り体験，紙芝居・神楽鑑賞，交流 ・高屋町仙石庭園見学，西条町龍玄精舎見学



6月17日，安芸津町でジャガイモ掘り体験



10月21日，豊栄町でりんご狩り体験



3月24日，河内町で地域の人と盆踊り体験

4 外国人のための防災フェスタ

(1) 概要 外国人住民、日本人住民の双方が、防災関連施設の見学やそこでの体験等を通じて、災害時の公助・自助・共助に関する知識や情報等を得る。また、たがいに歩み寄りながら最大限意思疎通を図ることを目指してコミュニケーションする機会を設け、在住地域における人間関係づくりの契機とし、これらを通じて、外国人住民・日本人住民の双方が、平常時からの関係づくりの重要性を意識する契機とする。

▽ 防災クイズ、防災ゲーム。広島県防災航空センター見学

(2) 対象者 主に東広島市に在住する外国人住民及び日本人住民

(3) 実施状況

日時	平成 29 年 11 月 23 日 (木・祝) 9 : 45~16 : 00
場所	広島県中央森林公園, 広島県防災航空センター
参加者	39 名 (日本人 20 名, 外国人 19 名)
内容	<ul style="list-style-type: none">・「やさしい日本語講座」を合わせて実施・移動バスの中で東広島市の外国人や「やさしい日本語」に関するクイズを実施・広島県中央森林公園で防災クイズ, 防災ゲーム・広島県防災航空センター見学



学生ボランティアによる「防災〇×クイズ」



グループに分かれ防災シュミレーションゲーム



県防災センターで吊り下げ救助疑似体験



県防災ヘリコプターの前で集合写真

5 地域交流希望事業

- (1) 概要 ひろしま国際プラザに滞在する研修員との交流を希望する人を広く一般より募集し、地域住民が主体となった国際交流活動を促進する。
 ▽ 日本の伝統芸能発表会、ミニコンサート、ロビーでの日本伝統文化の作品展示、スポーツを通じた交流イベント など
- (2) 対象者 交流イベント等を計画している地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ ロビー・体育館・レストラン など
- (4) 実施回数・参加者

伝統芸能発表会	9回	569名
ミニコンサート	6回	295名
スポーツ交流	81回	1,459名



伝統芸能発表会（殺陣）



伝統芸能体験（次郎丸太鼓）

6 ホストファミリー講習会

- (1) 概要 身近にできる国際協力・交流の手段として有益なホームステイについての講習会を開催し、日本人住民のホームステイへの関心を喚起し、またホストファミリー相互の連携及び情報共有を強化する。
 「やさしい日本語講座」を合わせて行った。
- (2) 対象者 ホームステイ受入れに興味を持つ日本人住民
- (3) 実施状況

日時	平成29年6月17日（土） 13:00～15:00
場所	ひろしま国際プラザ
参加者	77名 うちホストファミリー 36名、外国人 41名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 研修員（1名）がホームステイ体験談、質疑応答 ・合流した東広島バスツアー参加者とともに、七夕飾り作りなどで交流した。



JICA 研修員からホームステイ体験談を聞く



完成した七夕飾りと参加者たち

7 外国人のための子育て交流会

- (1) 概要 未就学児を持つ外国人・日本人住民の交流会を開催することで、孤立しがちな外国人保護者の子育ての悩みを解消し、外国人・日本人の垣根を越えた子育てネットワークづくりを支援する。
- (2) 対象者 未就学児を持つ外国人・日本人住民
- (3) 実施状況

日時	平成 29 年 8 月 26 日 (土) 10:00~12:00
場所	ひろしま国際プラザ
人数	54 名 (外国人 29 名, 日本人 25 名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・アイスブレーキング (ゲーム「じゃんけん列車」) ・ワークショップ (うちわ作り「動物園を作ろう!」) ・各国の子育て事情 (テーマトーク, フリートーク)



作成したうちわを手にした参加者たち



テーマトークの内容

8 外国人のための日本料理講習会

- (1) 概要 在住外国人が地域に溶け込みやすいよう日本料理の調理法とそのマナーを知る。
- (2) 対象者 日本料理の調理法とマナーに興味がある外国人
- (3) 実施状況

日時	平成 29 年 11 月 18 日 (土) 10:05~14:00
場所	ひろしま国際プラザ クッキング交流室
人数	22 名 (外国人 16 名, 日本人講師 4 名, ボランティア 2 名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の指導のもと, ボランティアの助けを得ながら, 全員で「野菜コロッケ」, 「炊き込みご飯」, 「お吸い物」を調理した。 ・食事をとりながら, 楽しく交流 ・はしの使い方のタブーの実演



調理中

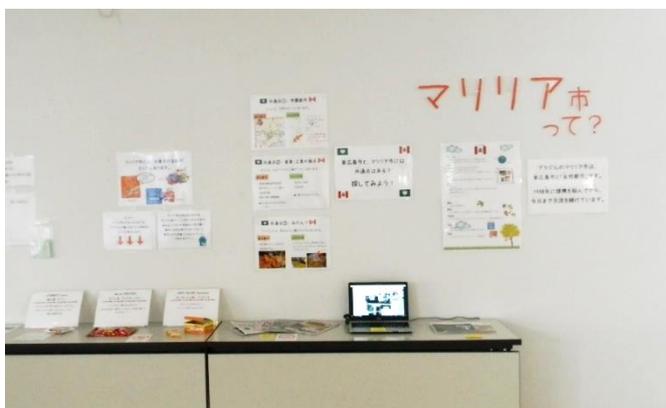


出来上がった料理の数々

9 友好都市マリリア市PR事業

- (1) 概要 東広島市の国際友好都市であるマリリア市との友好交流をPRする。
- (2) 対象者 東広島市民、広島県民
- (3) 実施状況

日時	平成30年2月16日(金)～2月23日(金)
場所	ひろしま国際プラザ ロビー 情報センター・図書室 レストラン 体育館 グランド
人数	・東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯参加者 200名(うち外国人80名) ・期間中レストラン利用者数 534名(メニューの一部にブラジル料理を提供)
内容	・写真・動画展示(レストラン前) ・関連図書・CD展示(情報センター・図書室) ・ブラジル料理の提供(レストラン) ・その他 東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯への協賛(2月18日(日)。体育館 グランド)



パネル展示の一部
(レストラン前)



関連図書・CD展示(情報センター)



ブラジル料理の提供
(レストラン)



東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯

2 国際相互理解促進事業

【目的】

日本文化・外国文化の相互理解を促進することで、グローバルな視野を持ち、文化の多様性を受容できる国際人材の養成に寄与する。

1 ワールドクッキング教室

- (1) 概要 海外の料理をテーマとした料理講習会を開催する。講師は地域に暮らす外国人住民に依頼し、外国人住民の社会参画への機会とする。
 - ▽ 講師の母国の料理紹介および調理を通じた交流
 - ▽ 講師の母国文化、社会事情の紹介
- (2) 実施回数 20回（上期・下期 各5回×2クラス）
- (3) 実施状況 テーマ国：
上期： ハンガリー、ケニア、タイ、ザンビア、メキシコ（5カ国）
下期： モンゴル、トルコ、ナイジェリア、イラン、スペイン（5カ国）
- (4) 受講者数 延べ337名



ザンビア料理

ハンガリー料理を長へはから
お国紹介を聞く

2 広島平和学習

- (1) 概要 平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームなどへの訪問や講義を通じて、広島への復興の歴史や平和の尊さについて学ぶための研修を実施する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員など
- (3) 実施回数 35回
- (4) 参加者数 計438名
- (5) 行程 平和記念資料館見学
「平和都市ヒロシマの歩み」（講義）又は「被爆体験講和」
平和記念公園見学
（原爆ドーム、慰霊碑、原爆の子の像、爆心地など） など



講義／平和都市ヒロシマの歩み



平和記念公園見学

3 日本文化体験教室

- (1) 概要 伝統的な日本文化である茶道・華道・着付け・書道等を体験する教室を開催することで、日本文化に対する興味・関心を喚起し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ 研修室・和室 等
- (4) 実施回数 73回（着付け24回，茶道12回，華道12回，日本料理体験8回，書道7回，お好み焼き体験3回，和紙人形2回，型染め2回，手描き友禅1回，絵手紙1回，殺陣1回）
- (5) 参加者数 計1,365名



浴衣の着付け体験



お好み焼き体験

4 宮島ツアー

- (1) 概要 広島を代表する文化遺産である宮島への訪問を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 実施回数 3回
- (4) 参加者数 計133名



大鳥居



弥山

5 ホームステイ・ビジット

- ア 概要 日本人住民と生活を共にする体験を通じ、研修員の日本の生活・習慣・文化に対する興味・関心を高めるとともに、受入家庭の国際交流・異文化理解への意欲を高める。
- イ 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- ウ 実施回数 25回
- エ 参加者数 計212名

ホームビジット



6 出前講座

- (1) 概要 在住外国人と日本人住民との交流。日本人住民からの申し込みに応じて随時開催し、日本人住民の国際交流を促進し異文化理解を高める。
- (2) 対象者 東広島市に在住する日本人住民
- (3) 場所 申し込み者が提供する場所
- (4) 実施回数 1回
- (4) 参加者数 計 23名



3 地域交流等事業（研修員参加型）＜JICA受託事業＞

【目的】

JICA が実施する研修員受入事業によりひろしま国際プラザに滞在する研修員と地域住民が直接交流できる場を創出し、地域住民の開発途上国・地域及び国際協力に対する理解を促進する。

1 世界まるごと体験デー

- (1) 概要 体験ブースやクイズラリー等を通じ、日本人・外国人が相互に文化を紹介する国際交流イベントを開催する。
▽ 体験ブース（世界の小物の手作り体験，世界の遊び体験，民族衣装試着，外国人へのインタビュー，その地域を知るクイズなど）
▽ 外国語の絵本の読み聞かせ，外国語新聞・雑誌などのリサイクルフェアなど
▽ その他：2月10日の開催の際には，ひろしま国際プラザ開設20周年記念国際理解講座「女優 紺野美沙子さんトークショー」をサブイベントとして開催した。
- (2) 対象者 国際交流に興味を持つ日本人・外国人住民
ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ



紺野美沙子さん

(4) 実施状況

(1回目)

日時	平成 29 年 9 月 23 日 (土) 10:00~14:00
参加者	一般参加者 570 名, ボランティア等 80 名
内容	<ul style="list-style-type: none">・文化体験 体験ブース (アフリカの布でガーランド作り, ビーズで国旗作り, イランの凧作り, 非識字体験ゲーム, ザンビア・ルワンダ・インドネシアの遊び体験など) を設置・新聞・雑誌のリサイクルフェア (情報センター・図書室) 所蔵期間の経過した外国語新聞・雑誌を無料で配布・世界の食文化の体験 レストランで世界各国料理をバイキングで提供・民族衣装の試着・世界旅行クイズ・人形劇&絵本の読み聞かせ・その他 参加型のイベント~外国人や青年海外協力隊員 OB・OG にインタビュー HIP パスポート~体験ブースを隈なく回ってスタンプを集めるゲーム など

(2回目)

日時	平成 30 年 2 月 10 日 (土) 10:00~14:00
参加者	一般参加者 540 名, ボランティア等 74 名
内容	<ul style="list-style-type: none">・文化体験 体験ブース (日本のつまみ細工作り, インドのランタン作り, 3D 地球儀作り, 非識字体験ゲーム, イラン・コスタリカ・インドネシアの遊びなど) を設置・新聞・雑誌のリサイクルフェア (情報センター・図書室) 所蔵期間の経過した外国語新聞・雑誌を無料で配布・世界の食文化の体験 レストランで世界各国料理をバイキングで提供・民族衣装の試着・世界旅行クイズ・人形劇&絵本の読み聞かせ・その他 参加型のイベント~外国人や青年海外協力隊員 OB・OG にインタビュー HIP パスポート~体験ブースを隈なく回ってスタンプを集めるゲーム など

2 国際理解講座「ねえ聞いて! わたしのお国自慢」

- (1) 概要 研修員が母国の地理・社会・文化事情等を紹介する, 国際理解促進のための講座を開催する。
▽ パワーポイントによるプレゼンテーション, クイズ, 外国語のあいさつ・日常会話の紹介, フリートークによる交流など
- (2) 対象者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ, 広島市湯来西公民館, 広島市祇園公民館

- (4) 実施回数 3回
 (5) 参加者数 計 研修員 9名, 一般参加者等 115名
 (6) 実施状況 (1回目)

日時	平成29年6月10日(土) 13:30~15:45
場所	ひろしま国際プラザ
参加者	研修員3名。一般参加者53名
テーマ国	お国紹介(マレーシア, インドネシア, イラン)



3 JICA研修員と話すHIROSHIMAピーストーク

- (1) 概要 ルワンダ, フィリピン, シリア等, 紛争経験国からきた長期研修員等が講師を務め, 広島市民向けに国の概要, 過去の出来事と現在の様子, 広島での思い出について紹介する。

市民と研修員の対話, および参加した市民同士が平和について語り合う時間を設ける。

▽ パワーポイントによるプレゼンテーション, フリートークなど

- (2) 対象者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民
 (3) 場所 広島市竹屋公民館, 広島市似島公民館, 県立広島大学
 (4) 実施回数 3回
 (5) 参加者数 計 研修員 10名, 一般参加者等 110名
 (6) 実施状況 (2回目)

日時	平成29年11月12日(日) 10:00~12:15
場所	広島市似島公民館(南区似島町)
参加者	研修員4名(フィリピン・ミンダナオ島出身)。一般参加者33名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修員の紹介 ・ミンダナオ島の紛争について説明 ・研修員の体験談の発表, 紛争の動画鑑賞 ・小グループでのディスカッション, 発表 ・研修員とのフリートーキング



4 学校訪問

- (1) 概要 授業や課外活動への研修員の参加・交流を通して、日本人児童・生徒が開発途上国や異文化理解について興味・関心を持つ機会とするとともに、研修員が日本の教育・文化事情について理解を深める機会とする。
 ▽ お互いの文化・社会事情等について相互に紹介する。
 ▽ お互いの伝統的な遊び等を紹介し、実演を通して交流を深める。
- (2) 対象者 開発途上国・開発教育に興味を持つ中国地方の小・中・高等・特別支援学校
- (3) 実施回数 8回8校
- (4) 参加者数 計 研修員 97名、児童・生徒・教員等 640名
- (5) 実施状況

第1回	平成29年7月7日(金)	広島市立五日市小学校
第2回	平成29年9月27日(水)	広島県立呉昭和高等学校
第3回	平成29年11月7日(火)	広島県立竹原高等学校
第4回	平成29年12月13日(水)	KTC中央高等学院福山キャンパス
第5回	平成29年12月13日(水)	近畿大学附属広島高等学校・中学校東広島校
第6回	平成30年1月25日(木)	広島県立可部高等学校
第7回	平成30年2月6日(火)	安芸太田町立筒賀小学校
第8回	平成30年2月20日(火)	広島県立三原特別支援学校



5 クッキング交流会

- (1) 概要 研修員の母国料理の紹介及び調理，食事を共にする体験を通して，地域住民との異文化交流を推進する。研修員母国の「食」を中心とした文化紹介等を行う。
- (2) 対象者 外国料理・文化に興味を持つ日本人住民
- (3) 場所 広島市阿戸公民館，ひろしま国際プラザ
- (4) 実施回数 2回
- (5) 参加者数 計 研修員 15名，一般参加者等 35名



6 東広島地域のまつり等への参加

- (1) 概要 研修員が地域コミュニティ等の主催するまつり等に参加し、地域住民と交流を深める。
▽ 運動会、酒まつり、とんど・餅つきへの参加
▽ 日本と研修員母国の文化・習慣・社会事情等の紹介
▽ 外国語のあいさつ・日常会話の紹介
- (2) 対象者 国際交流に興味を持つ日本人住民
- (3) 場所 酒まつり会場、御藪宇小学校
- (4) 実施回数 3回
- (5) 参加者数 計 研修員 61名



7 JICA 中国実施イベント

- (1) 概要 JICA 中国が実施するイベントに研修員の参加を呼びかけ引率する。
▽ サンフレッチェ広島スタジアムイベントへの参加
J横断幕を持ってグラウンドを一周、試合観戦
▽ 広島東洋カープ・ユニタール・JICA コラボイベントへの参加
選手への花束贈呈、始球式、グラウンドでCCダンス披露、試合観戦
- (2) 対象者 国際交流に興味を持つ日本人住民
- (3) 場所 エディオンスタジアム広島、MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島
- (4) 実施回数 2回
- (5) 参加者数 計 研修員 29名



20 国際協力情報の収集・提供事業

(ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業)

1 目的

海外からの研修員や県民等に国際協力等の情報を提供するとともに、各種の相談に応じる。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

(1) 情報センター・図書室の運営（平成9年(1997年)4月1日開室）

業務：日本語学習教材や国際協力に関する図書等の配備（蔵書数 14,749 点）

ひろしま国際プラザ滞在の研修員や外国人，県民を対象とした相談。

(2) ホームページによるひろしま国際プラザ情報等の提供。

(3) 平成21年(2009年)4月から図書室内に日本文化理解のための展示を実施。

(4) 平成22年(2010年)5月から研修員と一般向けにミニ折り紙レッスン開始。

(5) 平成24年(2012年)4月からツイッター，5月からフェイスブック開始。

11月から，図書等の一般への貸出開始。

(6) 平成25年(2013年)WI-FI環境の整備，開始。

(7) 平成27年(2015年)4月に絵本専用の部屋「絵本の森」をオープン。

3 平成29年度実績

情報センター・図書室の運営（開館日数：308日）

休室日：毎週日曜日，12月29日～1月3日（蔵書整理等のため，別途年3日間休室）

開館時間：平日 10:30～12:30・13:30～19:00，土祝日 10:30～19:00

① 情報センター・図書室来室者数

区分	一般(人)	宿泊研修員(人)	計(人)	一般比率(%)	研修員比率(%)
総数	7,514	1,335	8,849	84.9	15.1
1日平均	24.4	4.3	28.7		

② 情報センター・図書室相談・問合せ件数

内容	一般(件)	宿泊研修員(件)	計(件)	一般比率(%)	研修員比率(%)
1 センター事業・研修等，施設利用・案内	108	34	142	76.1	23.9
2 国際交流・協力 NGO，ボランティア	10	0	10	100.0	0.0
3 教育・学習・語学・留学等	4	4	8	50.0	50.0
4 異文化理解（ホームステイ・文化交流折り紙等・行事・催し）	88	41	129	68.2	31.8
5 生活一般（医療・公共サービス・観光・交通・宿泊・レンタル他）	9	18	27	33.3	66.7
6 その他	9	2	11	81.8	18.2
計	228	99	327	69.7	30.3

③ 蔵書購入 平成29年度(2017年度)実績：図書 152冊，CD 9枚，DVD 17本

④ リサイクルフェアの実施

平成29年9月23日，平成30年2月10日 開催

来室者数：1,020名（内研修員数 23名）

⑤ 読み聞かせの実施（絵本で楽しむ外国語）

平成29年6月10日 開催

来室者数：54名

平成29年8月26日 開催

来室者数：22名

⑥ 利用者数，貸出数

(参考) 過去の実績

(単位：人，件)

区分／年度(平成)	2013 (25)	2014 (26)	2015 (27)	2016 (28)	2017 (29)
利用者総数	4,251	5,051	6,668	8,441	8,849
うち一般利用者数	3,235	4,208	5,289	7,040	7,514
うち宿泊研修員利用者数	1,016	843	1,379	1,401	1,335
相談・問合せ件数	361	530	733	480	327
貸出数 (図書，雑誌，AV合計) *	1,909	3,938	5,422	7,616	7,341



(絵本で楽しむ外国語)



(情報センター・図書室)



(絵本の森)

2 1 NGOの人材育成・情報提供事業

1 目的

地域レベルでの国際協力に対する県民理解を深めながら、本県の国際化の貢献に寄与する草の根の国際協力・国際貢献活動を行う人材の育成を図る。

また、NGO交流室を活用し、NGOの活動や情報提供を推進する。

2 事業概要

(1) 「草の根国際協力活動支援事業」：県内のNGO活動を支援するため、「草の根国際協力基金」を創設（平成10(1998)年度）し、県内NGO団体の活動を助成。

平成26年3月にピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附を受け、支援を拡充。

(2) NGO交流室の運営（平成9(1997)年度開始）：NGO交流室を活用し、県内外のNGO活動や情報収集・提供を推進

3 平成29年度実績

(1) 草の根国際協力活動支援事業

(収入) 寄附金額実績	28年度繰越	17,368,234円
	29年度実績	0円
	計	17,368,234円
(支出) 助成金額等実績	29年度実績	5,665,729円 (うち助成金5,597,229円)
残 額	翌年度繰越	11,702,505円

(平成29年度助成事業)

①担い手育成事業

団体名	事業内容	実施場所	助成額(円)
広島ベトナム 平和友好協会	ベトナムについての理解を深めるとともに、同協会が行っている支援プログラムへの理解を深めるため、ベトナムに関する講座等の開催事業	東広島市	120,407



ミャンマーの小学校への
水供給施設建設事業
(特定非営利活動法人 ESA)

②国際協力事業

団体名	事業内容	実施場所	助成額(円)
特定非営利活動法人 日本パラオ協会	パラオの生活習慣病予防のため、小学校の給食改善のための必要な機器を整備する事業	パラオ	565,000
特定非営利活動法人 ESA	ミャンマーの学校で学ぶ生徒達の水不足解消に向けた水供給システムの建設事業	ミャンマー	786,022
特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ ジャパン	東ティモールの産業振興のため、コーヒーの品質管理体制強化に係る生産者の支援事業	東ティモール	1,800,000
特定非営利活動法人 IMAGINUS	インドの路上で生活し、保護された女子児童が元の路上生活に戻ることを防ぐため、母親を対象にした職業技術訓練プログラムの実施事業	インド	525,800
特定非営利活動法人 NGOひろしま	カンボジアにおける教員養成校等で口腔保健指導を行うとともに、これらともリンクさせたスポーツや絵画などの情操教育の実施	カンボジア	1,800,000

(2) NGO交流室利用状況

利用者数	掲示申込数	団体ファイル設置数
583人	453件	50団体 (市町村広報を含む)

(参考) 過去の実績

(単位：円，人)

事業区分／年度		H24	H25	H26	H27	H28	H29
資金協力	草の根国際協力基金 (収入)	282	27,271,290	0	0	0	0
	草の根国際協力助成 (支出)	0	0	2,791,719	2,704,884	4,193,832	5,597,229
情報収集 ・提供	NGO交流室利用者数	346	708	248	498	584	583

注：利用者数は延べ人数

2 2 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

1 目的

広島県立広島国際協力センターと独立行政法人国際協力機構(JICA)中国国際センターの合築施設である「ひろしま国際プラザ(HIP)」を、両者からの委託により一体的に管理し、中四国地方の国際協力事業の拠点施設として効果的に活用されるように総合的に運営を行う。

2 事業概要

- (1) 広島国際協力センターの管理運営 (平成26(2014)年度～平成30(2018)年度 第3期指定管理者)
- (2) JICA中国国際センターの管理運営

3 平成29年度実績

(1) 研修・講習会実績

(単位：コース，人)

区分	コース数	人数	備考
広島県研修	9	1 2 5	日本語高等研修，海外日本語教師養成研修，JETプログラム日本語・日本文化研修等
JICA研修	6 8	4 4 7	課題別研修，国別研修，青年研修，日系研修等
HIC独自研修	3 0	4 9 5	青少年等日本文化体験研修，企業等国際化研修，グローバルレゾナンス・プログラム等
その他	1 8	2 7 3	企業，大学，協同組合等が実施する国際化研修等による施設利用
計	1 2 5	1, 3 4 0	

※人数は研修員のみ。講師・引率等は除く。

(2) 宿泊室利用実績

(単位：人泊，%)

区分	平成29年度 利用者数(A)	平成29年度 利用率	平成28年度 利用者数(B)	平成28年度 利用率	増減率 (A/B)
広島国際協力センター	14, 113	53. 0	13, 445	50. 5	105. 0
J I C A中国国際センター	9, 650	55. 1	10, 224	58. 4	94. 4
計	23, 763	53. 8	23, 669	53. 6	100. 4



【ひろしま国際プラザ】